

## 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2023 年度事業方針

2023 年度事業計画について、ご説明します。

コロナ禍の制限は無くなりましたが、Web 会議システムの利便性と対面での顔の見えるコミュニケーションの良さの両面を活かしていくことが求められていると考えます。そのため、2023 年度の第 37 回リハ工学カンファレンス in 東京では、対面と Web 会議システムを併用し、開催を目前にしています。

既に審査が進んでいる、福祉機器コンテスト 2023 の受賞作品は、多くの皆さんに知っていただけるよう、Web だけでなく、第 37 回リハ工学カンファレンス in 東京、第 50 回国際福祉機器展、ニーズ・シーズマッチング交流会 (大阪・東京) で、実物展示ができるように進めています。

協会誌の編集委員長には帝京平成大学の徳田良英さんに担っていただき、特集のみならず、査読システム構築など、さらに進めていただくために、手腕を発揮していただければと思っています。よろしくお願いいたします。

分科会・専門委員会では、いくつかの SIG (Special Interest Group) で対面開催の講習会企画があると聞いています。特色を発揮していただければと思います。

SIG 内部化に伴う財務に関しても、一定の条件が明確になりました。2023 年度は全協力 SIG の法人内移行を目指します。

地域支部において、単独での活動が激しい地域もありますので、2023 年度は見直しが必要と考えています。協会本部主導のイベント、リハ工 ミライ・アッセンブリー等、さらなる連携を進めます。

災害対策委員会では、委員会主導で、業界団体とも調整をし、協会として何ができるのか検討します。2023 年度は八王子いちよう祭りに加え、協会主催で災害対策リハ工学セミナーを開催したいと考えています。

企画推進事業として、リハ工 ミライ・アッセンブリーでは、会員向けに限らない情報発信の場として、2023 年度も継続します。地域支部はもとより今後はテーマによって、複数の SIG との連携も検討しますので、皆様ご協力をお願いします。

国際連携では、アジアでの支援機器関連団体 (CREATe-Asia) の i-CREATe 2023 が 2023 年 8 月にタイで開催されます。その場において各国の加盟団体の連携調印がされる予定となっており、当協会も覚書に調印をする予定です。

総務関連では、事務局の運営をさらに強化するため課題を明確にし、外部委託の範囲を広げる、システムを導入するなど引き続き対応をしていきます。さらに、個人情報保護や特定商取引等に関してもより適切な対応を進めます。

会員の皆様におかれましても、協会活動へ積極的に参加・支援をいただき、一丸となって、障害者支援・業界の発展に寄与して参りましょう。本年度もご協力のほど、よろしくお願いいたします。

会長 河合 俊宏

### 1. 事業

#### 1-1. リハ工学カンファレンス関連(カンファレンス担当理事)

##### 1) 第 37 回リハ工学カンファレンス準備

第 37 回リハ工学カンファレンスの開催準備を行う。

- ・会期: 2023 年 8 月 24 日(木)~26 日(土)
- ・会場: 東京大学先端科学技術研究センター(東京都目黒区駒場 4-6-1)
- ・大会テーマ: リハ工学の先端で、インクルーシブ社会をさげぶ
- ・大会長: 熊谷晋一郎氏(東京大学 先端科学技術研究センター 准教授)
- ・実行委員長: 並木重宏氏(東京大学 先端科学技術研究センター 准教授)

## 2)第 38 回リハ工学カンファレンス準備

第 38 回リハ工学カンファレンスの開催準備を行う。

## 3)第 39 回リハ工学カンファレンス準備

第 39 回リハ工学カンファレンスの開催準備を行う。

## 4)UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)継続利用

演題募集・登録のため UMIN システムを利用する。

# 1-2. 福祉機器コンテスト関連(コンテスト担当理事)

## 1)福祉機器コンテスト 2023

### ①第一次選考会

・機器開発部門は、応募作品の書類やビデオによる審査を実施

開催日:2023 年 7 月 8 日(土)

場所:Web 会議システムによる実施

応募数 21 件(会員8件、非会員 13 件) \*前回は 26 件

・学生部門は、応募作品の書類やビデオによる審査の後、2023 年7月 15 日(土)を締切とした選考委員による投票を実施

開催日:2023 年 7 月 8 日(土)

場所:Web 会議システムによる実施

応募数 21 件(会員 0 件、非会員 21 件) \*前回は 16 件

### ②第二次選考会 2023 年 8 月 25 日(金)

・機器開発部門は、応募者によるプレゼンテーションおよび実機による審査を実施

開催日:2023 年 8 月 25 日(金)

場所:東京大学先端科学技術研究センター(東京都) ※ハイブリッド形式を予定

・学生部門は、実機による審査を実施

開催日:2023 年 8 月 25 日(金)

場所:東京大学先端科学技術研究センター(東京都) ※ハイブリッド形式を予定

### ③発表・表彰

・第 37 回リハ工学カンファレンス内のプログラム

開催日:2023 年 8 月 26 日(土)

場所:東京大学先端科学技術研究センター(東京都) ※ハイブリッド形式を予定

### ④展示・広報:

・第 37 回リハ工学カンファレンス in 東京 2023 年 8 月 24 日(木)~26 日(土)  
(一次選考会通過作品の展示)

・第 50 回国際福祉機器展(H.C.R. 2023) 2023 年 9 月 27 日(水)~29 日(金)

・ニーズ・シーズマッチング交流会(大阪会場・東京会場) 2023 年 11 月~12 月

・キッズフェスタ 2024(東京都) 2024 年 4 月頃予定

・バリアフリー展 2024(大阪府) 2024 年 4 月 17 日(水)~19 日(金)

## 2)福祉機器コンテスト 2024

①特別協賛:(予定) フランスベッド株式会社

②協賛:(予定) 株式会社有菌製作所、株式会社ケーブ

③後援:(予定) 厚生労働省、経済産業省、公益財団法人テクノエイド協会

公益社団法人日本理学療法士協会、公益社団法人日本生体医工学会

公益社団法人計測自動制御学会、一般社団法人日本義肢装具学会  
一般社団法人日本作業療法士協会、一般社団法人日本生活支援工学会  
一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会、  
一般社団法人日本車椅子シーティング協会、一般社団法人日本福祉のまちづくり学会  
一般社団法人日本人間工学会、バイオメカニズム学会  
特定非営利活動法人バイオフィリアリハビリテーション学会

④福祉機器コンテスト 2024 事務局(2024 年 3 月 1 日～)

⑤選考委員会の設置(2024 年 4 月 1 日～)

⑥募集対象:機器開発部門、学生部門

⑦広報開始・応募要綱配布:2024 年 4 月中旬

⑧募集期間:機器開発部門 2024 年 5 月～6 月、学生部門 2024 年 5 月～7 月

⑨展示・広報(予定)

・キッズフェスタ展示会(広報) 2024 年 4 月

・バリアフリー2024 展示会(広報) 2024 年 4 月

3)コンテスト発展のための取り組み

コンテストの企画内容及び運営方法を見直す。

### 1-3. 協会誌関連(協会誌担当理事)

1)協会誌編集

・年4回、協会誌の発行に合わせて必要に応じ会場の確保を行い、編集委員会を開催

・コロナ禍での電磁的開催は定着したが、会場利用での対面開催のメリットも大きいため、年 2 回の対面開催を計画

2)協会誌発行

以下の協会誌を発行予定

2023 年度

・Vol.38 No.3 2023/8 特集「可能性を広げる電動車椅子(仮)」

・Vol.38 No.4 2023/11 特集「入浴ケアの可能性(仮)」

・Vol.39 No.1 2024/2 「未定(仮)」

・Vol.39 No.2 2024/5 「未定(仮)」

3)投稿論文(査読依頼)

・早期に査読委員会を設立し、新たに査読委員会内規のもと、投稿論文の査読者の確保と依頼、迅速な査読、査読依頼と結果通知の電子化を実施予定

4)協会誌の段階的電子化

・協会誌電子化作業のうち、J-STAGE 掲載を、株式会社ジェイピーシーに継続委託

5)編集委員会幹事委託費

・編集委員会幹事を神奈川県総合リハビリテーションセンターの松田健太氏に委託

### 1-4. 分科会・SIG(分科会(SIG)担当理事)

1)SIG 活動支援

・コロナ禍で停滞していた各 SIG の活動について、各 SIG 主体の活動及び、複数 SIG 協同の活動について、当法人が企画する事業を実現化する際に大変頼りになるパートナーであるという認識に基づいて、活動支援を継続

- ・これまで同様、2023 年度も当法人が企画・参画・運営する事業(講習会やコンテスト、協会誌の査読、リハ工学カンファレンス等)実施に際して各 SIG と協働しながら当法人および各 SIG の活動を活性化
- ・2023年度内に法人内 SIG を設立し、任意団体 SIG の解散整理を進める

2023 年度活動計画 期間:2023 年 7 月～2024 年 6 月 ※SIG 会員数(協会員のみ)は 2023 年 6 月 1 日現在

<b>SIG 姿勢保持</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/posi-sig/">http://www.resja.or.jp/posi-sig/</a>	会員数:26 名
代表者:繁成剛(長野大学) 事務局長:中村詩子(横浜市総合リハビリテーションセンター)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web サイト運営、会員専用 ML への情報発信、リハ工学協会事業への協力</li> <li>・書籍(小児から高齢者までの姿勢保持・第2版)や資料集 PDF 版の販売</li> <li>・講習会:SIG姿勢保持講習会 2023 (2023 年7月22日(土)・23日(日):アンピールホテル大阪)</li> </ul>		
<b>車いす SIG</b>	<a href="https://www.wheelchair-sig.jp/">https://www.wheelchair-sig.jp/</a>	会員数:38名
代表者:沖川悦三(神奈川県総合リハビリテーションセンター) 事務局長:深野栄子		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会開催</li> <li>・車いす SIG 講習会</li> <li>・Web サイト運営、分科会(BOG)活動、大規模災害復興支援</li> <li>・日本車椅子シーティング協会 車椅子姿勢保持基礎講習会(障害分野)の共催</li> <li>・その他、本協会事業への協力</li> </ul>		
<b>自助具 SIG</b>	ホームページなし	会員数:9 名 Facebook グループ登録者:44名
代表者(事務局兼務):岡田英志(ヒューマン)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第37回リハエカンファレンスにおいてセッション参加予定</li> <li>・3D プリント研究会インタラクティブセッション予定</li> </ul>		
<b>乗り物 SIG</b>	<a href="https://ameblo.jp/sunrisejp007/">https://ameblo.jp/sunrisejp007/</a>	会員数:5 名
代表者:麩澤孝(有限会社セカンドステージ) 事務局長:片石任(株式会社フロンティア)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SIG ブログの更新、充実、情報提供</li> <li>・分科会(BOG)活動、協会事業への協力</li> </ul>		
<b>SIG 褥そう防止装置</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/sig-pmps/">http://www.resja.or.jp/sig-pmps/</a>	会員数:10 名
代表者(事務局兼務):新妻淳子(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・協賛学会である LIFE2023 におけるオーガナイズドセッション「OS-9:人体ダミーやシミュレーションを用いたヒト代替研究」を企画し、褥瘡発生と悪化に係る”破壊の力、剪断力”について、議論の場とする(このセッションについて会員への告知を通して、SIG 活動への興味をひろげたい)</li> <li>・リハ工学カンファレンスにおける SIG 紹介の場で、会員への理解を深めるよう働きかける。</li> </ul>		
<b>コミュニケーション SIG</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/com-sig/">http://www.resja.or.jp/com-sig/</a>	会員数:20 名
代表者:渡辺崇史(日本福祉大学) 事務局長:上野忠浩(横浜市総合リハビリテーションセンター)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ修正・改訂作業</li> </ul>		
<b>SIG 住まいづくり</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/sumai-sig/">http://www.resja.or.jp/sumai-sig/</a>	会員数:15名
代表者:橋本美芽(東京都立大学) 事務局長:鈴木基恵(横浜市総合リハビリテーションセンター)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SIG 活動方針の検討、講演会の開催、ホームページの見直し検討</li> <li>・講習会開催</li> <li>・協会事業への協力</li> <li>・Web サイトリニューアル検討</li> </ul>		

<b>特別支援教育 SIG</b>	ホームページなし	会員数:5名
代表者:松田靖史(川村義肢株式会社) 事務局長:高原光恵(鳴門教育大学)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・協会事業への協力</li> <li>・特別支援関連事業への協力</li> </ul>		
<b>移乗 SIG</b>	2023年7月1日協会内SIGを設立 新ホームページ開設予定	会員数:14名
代表者:古田恒輔(神戸学院大学) 事務局長:青木久美子		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会の開催 年度内3回(対面もしくはWeb会議システム等を用いた遠隔会議を設定)</li> <li>・日本リハビリテーション工学協会 カンファレンスへの参加 SIG 設置報告および会員獲得のための広報活動。SIG 参加申請アドレスや事務局の案内。</li> <li>・ホームページの作成</li> <li>・講習会の開催(2回程度)協会事業への協力</li> </ul>		
<b>義肢装具 SIG</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/po-sig/">http://www.resja.or.jp/po-sig/</a>	会員数:25名
代表者:笹川友彦(熊本総合医療リハビリテーション学院) 事務局長 砂野義信(フリーランス)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインセミナー 2回開催 SIG会員向け参加費無料 SIG役員による義肢装具トピックスを中心に</li> <li>・新形式での講習会 コロナ下での新しい形式の講習会開催</li> <li>・義肢装具 SIG ホームページ運営</li> </ul>		

#### 1-5. 分科会・支部(分科会(支部)・専門委員会担当理事)

##### 1)支部への活動支援

会員はいずれかの地域の支部に所属し、各支部ではリハ工学に関わる人的ネットワークを構築している。協会誌やホームページで全支部からの情報を掲載し、会員への周知を図っている。支部ごとに活動状況に差があるので、2023年度は本部や他の委員会と協力し、さらなる支部活動への支援を積極的に行う。

- ・継続的な活動が行えるよう、活動経費として支部活動金を配分
- ・2023年度も引き続き支部活性化のための情報発信の簡便化や効率化等について検討

##### 2)2023年度活動計画(期間:2023年7月~2024年6月)

詳細は「支部の2023年度事業計画」として別紙に示す。

#### 1-6. 災害対策関連事業(災害対策担当理事)

##### 1)災害対策委員会活動

- ・災害対策委員会が持っている案件を解決するための委員会活動を活性化
- ・事業の実施に際して、活動開始までの段取りを、災害対策委員全員による検討ができるよう、Web会議システムによる会議を実施

##### 2023年度の主な活動は以下の通り

- ・災害対策委員会会議の実施
- ・災害対策セミナー実施に関する検討
- ・災害対策マニュアル作成に関する検討
- ・他団体との協働に関する検討
- ・その他、災害対策委員会が独自に必要なと認めたこと
- ・リハ工学協会災害対策に関わる事項についての統括、および必要があればワーキンググループの人員選定

##### 2)災害対策セミナー等の開催

- ・協会の広報活動および会員獲得に向けたPR活動、公益活動のために以下の展示会出展および出展社セミナー等を開催

- ・2022年度は、八王子いちよう祭りでの展示、体験会を実施した。本年度は八王子いちよう祭りに加え、リハ工学協会主催の災害対策セミナーの開催を検討
- ・運営は災害対策委員会を中心に各SIGや支部の協力を仰ぎながら企画し、リハ工学協会による平時からの災害対策啓蒙、技術伝承及び、災害時の福祉用具や住環境改善の対応等の内容を検討

#### 2023年度の主な活動は以下の通り

- ・災害対策セミナー等の企画・実施  
対象者:当事者やリハ工学に興味のある方等  
対面開催を基本とするが、オンライン開催等も視野に、実施を検討
- ・八王子いちよう祭りでの展示、体験会  
対象者:一般および当事者  
対面開催で、出展に際しては、企業への協力を依頼
- ・リハ工学カンファレンスにおけるイベント企画

#### 3)災害対策マニュアルの作成

- ・2022年度には具体的な動きができなかった障害を持つ方向けの災害対策マニュアル(防災マニュアル)について内容の精査を行い、2024年度の発刊を目標に準備

#### 2023年度の主な活動は以下の通り

- ・障害を持つ人向けの災害対策マニュアル(防災マニュアル)(仮称)の作成準備
- ・内容の決定
- ・執筆者選定
- ・発刊スケジュールの検討

#### 4)他団体との協働

- ・2023年度は、JRATを中心とし、他団体との協力体制を構築する。特に都道府県単位の地域JRATの活動に対して、リハ工学協会がどのように参加ができるか検討
- ・リハ工学協会の特長を生かせる災害対策を求めている団体を選定し、協力方法についての話し合い等を検討
- ・災害関連イベントに関して、他団体との協働活動が可能であれば検討

#### 2023年度の主な活動は以下の通り

- ・JRAT活動への参加
- ・地域JRATへのリハ工学協会支部参加方法の検討および促進
- ・JASPA(日本福祉用具・生活支援用具協会)の災害復興車椅子メンテナンス事業等への参加
- ・JRAT、JASPA、JAWS(Japan Association of Wheelchair and Seating:日本車椅子シーティング協会)、日本福祉用具供給協会等の連携の窓口対応
- ・DWAT(Disaster Welfare Assistance Team:災害福祉支援チーム)等の他団体との関係性についての検討

### 1-7. 企画推進事業(企画担当理事)

#### 1)リハ工 ミライ・アッセンブリー等の開催

- ・協会だけではなく外部団体と連携しジャンルを超えた意見ディスカッションを実施し、障害当事者の一助になるセミナー等を開催
- ・新たな会員獲得、及びリハ工学に関する知識や技術の普及促進を目的としたリハ工 ミライ・アッセンブリーの定期的開催

#### 2)研修企画委員会設置の検討

- ・研修企画委員会のあり方を検討

## 1-8. 事業統括(事業統括理事)

協会の広報活動および会員獲得に向けたPR活動、公益活動のために以下の展示会出展および出展社セミナー等の開催を行う。

### 1)学会展示会、広報活動強化

以下の展示会等へブース出展し、広報活動を実施する。その際には各地域の支部で運営するように体制整備を併せて行っていく。

・第50回国際福祉機器展(H.C.R. 2023)

リアル展:2023年9月27日(水)~29日(金) 10:00~17:00 (東京ビッグサイト(東京都))

Web展:2023年8月28日(月)~10月30日(月) (H.C.R. 2023 Webサイト 特設サイト内)

・ニーズ・シーズマッチング交流会2023

大阪:2023年11月27日(月)~29日(水) 東京:2023年12月12日(火)~14日(木)

・バリアフリー2024 2024年4月17日(水)~19日(金) インテックス大阪(大阪府)

・地域を含めた展示会等の出展検討

### 2)セミナー開催

各福祉機器展において出展機会を有効活用し、出展効果の向上とリハ工学に関する普及を促進する目的で、積極的に出展社セミナー・ワークショップを開催していく。

・第50回国際福祉機器展(H.C.R. 2023)

・バリアフリー2024

### 3)情報保障の拡充

障害者差別解消法の施行により、障害のある人に対する情報保障を実施する必要がある。当協会においても、主催セミナー・シンポジウムや支部事業、カンファレンス等において情報保障の実施が求められており、そうした社会情勢に対応するための体制づくりを継続して行う。

## 1-9. 国際関連事業(国際担当理事)

### 1)国際関連団体との相互協定に基づく交流

・GAATOへの参加と連携

・i-CREATeへの参加と会員への情報提供

・CREATe ASIA覚書の調印式 タイ 2023年8月8日(水)~11日(金)

### 2)国際連携推進委員会の開催

・理事会のもとに、協会の国際連携等についてのアドバイスを行う国際連携推進委員会を設置し、Web会議システムにて年に2回程度の委員会開催を予定

### 3)リハ工学カンファレンスにおける国際セッションの企画

## 2. 総務

### 2-1. 規則・選挙(規則・選挙担当理事)

#### 1)2023年度代議員・役員候補者選挙

・2023年度代議員・役員候補者選挙を実施

#### 2)規程の整備

・各種規程を整備し、必要に応じて改定

### 2-2. 財務(財務担当理事)

#### 1)法人会計の管理

2023年度決算の実施

2024年度予算案の提案

四半期決算の実施

2)分科会・支部の連結決算の準備

会計システムの再構築

会計システムの統合

### 2-3. 総会・理事会(総会・理事会担当理事)

1)2023年度定時社員総会の開催

・2023年8月に、カンファレンス会場にて定時社員総会を開催

日時:2023年8月25日(金)12:20~13:20

会場:東京大学先端科学技術研究センター(東京都目黒区駒場4-6-1)

2)2023年度理事会の開催

・年5回、定例の理事会を開催

・時期は2023年7月、10月、12月、2024年3月、6月

・Web会議を基本とするが、必要に応じて対面開催

### 2-4. 広報・渉外(広報・渉外担当理事)

1)協会リーフレット印刷

・協会案内用リーフレット印刷

2)Web会議システム利用

・Web会議システムを活用し、効率的で経費負担の少ない事業運営を目指す

3)外部ストレージ利用

・理事業務を円滑に行うため、外部ストレージ(X server Drive)を利用し、各種データを共有

4)メールサーバの検討

・より安全で使いやすいものを検討

5)Web管理委員会

・委員会の在り方とメンバーの再考

### 2-5. 事務局(事務局担当理事)

1)事務局運営

法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進める。

2)会員管理システムの保全

・必要に応じた委員会の設置

3)展示会出展における広報活動

### 3. 後援・協賛事業

・後援・協賛予定事業(主催団体と内容)は下記の通りである

No.		団体名	開催日程	内容
1	後援	特定非営利活動法人 バイオフィリア リハビリテーション学会	2023/7/8	第27回バイオフィリアリハビリテーション学会大会
2	協賛	特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会	2023/9/6~8	ヒューマンインタフェースシンポジウム2023
3	協賛	一般社団法人日本機械学会(幹事学会)、一般社団法人ライフサポート学会、一般社団法人日本生活支援工学会	2023/9/19~21	LIFE2023
4	後援	一般社団法人日本福祉のまちづくり学会	2023/9/29~10/1	日本福祉のまちづくり学会 第26回全国大会
5	後援	NPO法人ケアリフォームシステム研究会	2023/10/14	第20回ケアリフォームシステム研究会 全国大会in愛知
6	後援	一般社団法人日本作業療法士協会	2023/11/10~12 (現地開催) 2023/11/13~12/17 (Web開催(オンデマンド配信))	第57回日本作業療法学会
7	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2023/12/14~16	第24回SICEシステムインテグレーション部門講演会

※下線は新規

## 【別紙】

### 支部の2023年度事業計画

#### 東日本支部

##### 1 概要

昨年度に引き続き今年度も、早期に組織の編成を行い、今後の活動計画の策定に努めたい。東日本支部は、広域であり、会議・セミナー・勉強会などについては、Web 会議システムなどを活用したいと考えている。東日本大震災などの災害の経験を活かして、地域 JRAT と支部の協力体制を構築していきたい。

#### 関東・甲信越支部

##### 1 概要

関東・甲信越支部活動として、昨年度より掲げている「災害対策キャンプ」のテーマを継続していく。その中で、食事に限らず寝泊まりや排泄といった必要な動作場面を環境や道具などを支援者や当事者の視点で整理し、Web 会議システム等を用いた会議・セミナー・勉強会の場で情報発信や意見交換することを計画していく。

##### 2 主要事業

###### (1)災害対策キャンプの企画・運営

時期:未定

場所:未定

内容:災害時、避難先での寝泊まりや食事、排泄などを想定した道具等の利用検証や意見交換会を実施予定

##### 3 その他

###### (1)支部役員会の開催

日時:必要に応じて開催

場所:Web 会議形式を予定

内容:2022 年度の事業報告・決算報告、2023 年度の事業計画案・収支予算案についての検討や各イベントの企画調整等

##### 4 2023 年度支部役員体制

代表: 沖川悦三(神奈川県総合リハビリテーションセンター:継続)

幹事: 水澤二郎(一般財団法人啓成会:継続)

深野栄子(日本リハビリテーション工学協会:継続)

麩澤孝((有)セカンドステージ:継続)

植田瑞昌(日本女子大学:継続)

片石任(株式会社フロンティア福祉本部:継続)

河合俊宏(埼玉県総合リハビリテーションセンター:継続)

鈴木明子(野のすみれクリニックリハビリテーション科:継続)

岡野善記(継続)

石濱裕規(医療法人社団永生会:継続)

森田千晶(継続)

事務局:神奈川県リハビリテーション病院研究部内 村田知之

連絡先:kkse@resja@or.jp

## 中部支部

### 1 概要

年間 2 回程度の支部セミナーを主催するとともに、各種勉強会を開催する。さらに、関係諸活動の後援など、リハビリテーション工学に関わる研究や知識・技術等の普及・啓発を図る。

### 2 主要事業

#### 支部セミナーの開催

①開催日:2023 年(実施日未定)

場所:ハイブリッド開催(会場は愛知県内(予定))

テーマ:ハイブリッド福祉用具見学会

講師:中部支部会員

②開催日:2023 年(実施日未定)

場所:ハイブリッド開催(会場は未定)

テーマ:機器活用勉強会および事例検討会

講師:中部支部会員

### 3 他学会等の事業への後援・協賛・協力

後援・協賛・協力依頼等があれば、随時検討する

### 4 その他

支部役員会の開催(随時開催予定)

場所:基本的にオンラインにて実施する

### 5 2023 年度支部役員体制

代表:渡辺崇史(日本福祉大学:継続)

幹事:北野義明(石川県リハビリテーションセンター:継続)

安田秀一(金沢市社会福祉協議会:継続)

長束晶夫(なごや福祉用具プラザ:継続)

事務局:日本福祉大学(渡辺)

連絡先:chubu@resja.or.jp(渡辺崇史)

## 関西支部

### 1 概要

年間 1 回程度支部セミナーを主催するとともに、各種勉強会を開催する。さらに、バリアフリー2024 の出展協力や協会主催セミナーの開催などの協会活動への協力を行い、リハビリテーション工学及び福祉用具・住環境整備等に関する研究や知識・技術等の普及・啓発を図る。

### 2 主要事業

(1)支部セミナーの開催(年間 1 回程度)

2023 年度関西支部セミナー

開催日:2024 年 3~4 月ごろ

場所:未定

テーマ:住宅・住環境整備

講師:未定

(2)バリアフリー2024 運営協力およびプレゼンテーションセミナーの開催

開催日:2024 年 4 月 17 日(水)~19 日(金)

場所:インテックス大阪

テーマ:未定

内容:ブース運営スタッフの派遣、プレゼンテーションセミナーの開催など

(3) ニーズ・シーズマッチング交流会 2023(大阪)運営協力

開催日:2023年11月ごろ

場所:未定

内容:ブース運営スタッフの派遣

3 他学会等の事業への後援・協賛・協力

今のところ予定なし

4 その他

(1) 支部役員会の開催

日時:2024年4月ごろ

場所:オンライン会議、もしくは対面会議(大阪、神戸)

内容:2023年度の事業報告・決算報告、2024年度の事業計画案・収支予算案について、支部セミナー等の企画検討など

5 2023年度支部役員体制

支部長: 相良二郎(神戸芸術工科大学:継続)

副支部長: 剣持 悟(川村義肢株式会社:継続)

宮野秀樹(非営利活動法人ぼしぶる:継続)

幹事: 赤澤康史(兵庫県立福祉のまちづくり研究所:継続)

金井謙介(神戸学院大学:継続)

島本 卓(兵庫県聴覚障害者連絡会:継続)

中村俊哉(兵庫県立福祉のまちづくり研究所:継続)

林威智郎(川村義肢株式会社:新規)

松田靖史(川村義肢株式会社:継続)

事務局長:糟谷佐紀(神戸学院大学:継続)

連絡先:〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518 神戸学院大学総合リハ学部糟谷研究室

078-974-1920(Tel/Fax)、kansai@resja.or.jp

中国・四国支部

支部代表退任に伴い、早期に組織の編成を行い、今後の活動計画の策定に努めたい。中国・四国支部は会員登録数も少なく、会員獲得に向け、引き続き本部と連携し、体制構築に向け検討していく予定。

九州支部

1 概要

年間1回程度支部セミナーを主催するとともに、各種勉強会を開催する。さらに、関係諸活動の後援など、リハビリテーション工学及び福祉機器に関わる研究や知識・技術等の普及・啓発を図る。

2 主要事業

支部交流会の開催

九州支部オフラインミーティング

開催日:2023年11月(未定)

場所:西日本総合展示場(予定)

※西日本国際福祉機器展において、展示ブースを巡りながら出展社および来場者(リハ工学協会会員も含む)と

ディスカッションする

※該当展示会が開催されない場合は、代替イベントを開催します

3 他学会等の事業への後援・協賛・協力

依頼があれば検討

4 その他

支部役員会の開催

主としてメーリングリストで意見・情報交換を行う。適宜、Web 会議を開催する

5 2023 年度支部役員体制

代表： 小林博光(総合せき損センター:継続)

スタッフ： 江原喜人(総合せき損センター)

辻奈美(純真学園大学)

山形茂生(コネクト リハビリテーション)

連絡先:koy@resja.or.jp